



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 35-16, DAIKAN-CHO, HIGASHI-KU, NAGOYA, 461-0002 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2012/2013)

- 国際会長 「世を照らす光となろう」
アジア会長 「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」
西日本区理事 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」
中部部長 「前へ!声を掛け合い!」
名古屋クラブ会長 「共に手をとり広げよう "Y'sの輪・絆"」

2012 ~ 2013 12 月 号 (No790)

12月例会プログラム

クリスマス祝会

とき: 2012年12月8日(土) 6:00p.m. ~

ところ: APA ホテル TEL052-953-5111

第一部 礼拝

司会 塩田 保君 奏楽 西村牧子さん
奨励・祝祷 西村 清君

第二部

司会 谷川 修君

開会宣言

五島八郎会長

入会式

義井裕子さん

ゲストビジター紹介

アトラクション 清水稜氏 大熊仁実氏

食事

岩田 鎌一君

食前感謝祈禱

尾関 明君

乾杯

川口 恵さん、千賀 将君

プレゼント交換

五島八郎会長

閉会宣言

ドアプライズに1,000円相当のプレゼントを持参。
プレゼントをお持ちで無い方は、ドアプライズの参加
権が有りません。

「クリスマスの大きな喜び」

西 村 清

クリスマスの出来事は、たくさんの喜びの歌を伴っています。一説によると、日本語の歌というものは「訴える」から来たと言われます。つまり、辛いことや苦しいことを歌に託して訴えるのです。ところがクリスマスの歌は、大きな喜びの歌です。生活の思い煩いを手放して、喜びに溢れて歌をうたうのがクリスマスです。いや、大人になると、あまりにもたくさんなことを知りすぎて喜ぶどころではない。現代社会に生きる私たちは、思い煩いを手放すどころかたくさん抱え込んで、重荷を負うことに慣れすぎています。しかしクリスマスは、喜んで、思い煩いを手放す訓練をする時です。

「マリアの賛歌」というクリスマスに歌われる最高の歌ガルカによる福音書1章46~56節に出てきます。「わたしの魂は主をあがめ、わたしの靈は救い主の神を喜びたたえます」と、マリアはうたいますが、彼女は何の心配もないわけではなかった。ごく普通の貧しい女性であった。そのマリアが心から喜んでうたっているのです。「(神が)身分の低い、この主のはしためにも、目を留めてくださいましたからです。」と歌っています。身分の低いという言葉は「身を低くされた」とか「打ちしおれた」という意味です。したがって、この歌は、打ちしおれている者が、それにもかかわらず力づけられ励まされてうたう歌です。クリスマスはいろいろな行事があり、プレゼントを交換し、すばらしい音楽を聴いたりします。しかし神からの最高のプレゼントはイエス・キリスト、そのことを祝う時です。

第 2 例 会

とき: 2012年12月18日(火) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.

ところ: 名古屋 YMCA

プログラム: 1月例会の件・次期クラブ役員人事

会長 五島八郎

書記 千賀 将

深谷 聰

副会長 川口 恵 飯田和也

会計 川口 恵

塩田 保

ブリテン 久保田 平野 伊左治

青木 ○

中野 ○

飯田 ○

久保田 ○

伊左治 ○

成瀬 ○

五島 ○

西村 ○

岩田 ○

小谷 ○

尾関 ○

塩田 ○

小尾 ○

鈴木 ○

加藤明 ○

千賀 ○

加藤晃 ○

相馬 ○

川口 ○

谷川 ○

川本 M

寺田 ○

第一例会(11/13)

メネット 伊左治 尾関 加藤(朱) 五島 西村 長井

西日本区財務委員会 (11/2 大阪) 渡辺

西日本区役員会 (11/17~18 大阪) 川口、谷川、成瀬、平野、渡辺

チャリティーラン (11/10)

小尾、加藤明、川本、久保田、五島、小谷、相馬、谷川、中野、成瀬、西村、平野、深谷、渡辺

メネット 加藤邦、加藤朱、五島、長井

コメント 平野

○第1 ○第2 ○第1・第2 M メーキャップ

11月クラブ出席		B F	11月個人出席							
在籍	27名		切手	360pt	青木	木本	○	中野	○	
第1例会	18名	11月	現金	7000pt	飯田	久保田	○	成瀬	○	
メネット	5名		小計	7360pt	伊左治	○	五島	○	西村	○
第2例会	8名		切手	1370pt	岩田	○	小谷	○	平野	M
メネット	0名		現金	7000pt	尾関	○	塩田	○	深谷	○
ゲスト・ビジター	2名	累計	小計	7360pt	小尾	○	鈴木	○	水谷	
メーキャップ	1名		切手	1370pt	加藤明	○	千賀	○	渡辺	○
出席率	77%	(?)	現金	7000pt	加藤晃	○	相馬	○		
メネット会	9名	11月	累計	8370pt	川口	○	谷川	○		
ゲスト・ビジター	0名		川本	M	寺田	○				

クリスマス祝会 アトラクション演奏者紹介

清水 棋氏 (バイオリン)

1992年 名古屋市名東区生まれ
菊里高校音楽科卒 現在愛知県立芸術大学2年
趣味はスキー・スノーボードなどウィンタースポーツ

大熊仁実氏 (ピアノ)

1991年 豊田市生まれ
菊里高校音楽科卒 現在愛知県立芸術大学3年
趣味は美術館めぐり

■■■ 第1例会レポート ■■■

とき: 2012年11月13日(火) 6時30分~8時30分
ところ: 名古屋 YMCA

今日の第一例会は深谷君の友人でパーカッション奏者の本多正典さんをお迎えしての企画。本多さんは「リハカッション」と名付けた活動で 打楽器(パーカッション)を障がい者や高齢者のリハビリに活用する事に取り組まれている方。

当日はどんな事をやるかなと期待して行くと 本多さんはあちこちの老人ホームや養護施設で活動しておられるので慣れた様子で 我々をリードして足踏みや手拍子でリズムを刻ませる。それに本多さんのアフリカかどこかの民族楽器の太鼓による複雑なリズムが絡む。

失礼ながら名古屋クラブはご高齢の方が多いのでリズムを取るの大丈夫かなと思っていたが、皆さんだんだん慣れて来てリズムも合って来て表情も活き活きしてくる。これはリハ

ビリにも有効だと実感する。

本多さんは元センチメンタル・シティ・ロマンスという名古屋をベースに活躍したロックバンドのドラマーだった人。私も若い頃熱心に聞いたバンドであり もうちょっとロックのリズムとかラテンの複雑なリズムも有ったならな と思わないでも有りませんでしたが 「リハカッション」というものが とても有意義なものだと実感できた例会でした。

(渡辺眞悟)



■■■ 第2例会レポート ■■■

とき: 2012年11月20日(火) 19:00~20:30
ところ: 名古屋 YMCA

1) 12月例会の件

会場はAPAホテル 18:00~
会費6,000円(メンは1,000円クラブ援助)
義井裕子さんの入会式を予定
アトラクションは荒川中部部長ご紹介の清水、大熊両氏。
出欠確認は11月中に会長が確認
プログラムの詳細は12月プリテン参照

1月第一例会

名古屋グランパスワイズメンズクラブ・京都部 京都東稟クラブと合同例会
1月12日(土) 18:30~ 会費 5000円(予定)
名古屋クレストンホテル TEL052-264-8000(代表) 名古屋市中区栄3-29-1 名古屋パルコ9-11F
出欠は12月20日までにお願いします。

2) 次期クラブ役員の件

12月例会で次期会長、副会長、書記、会計を発表する。

3) 後期プログラムについて

1月例会 合同例会

2月例会 オークション

3月例会 水谷君に確認

4月例会 メネット会

5月例会を岩手県陸前高田市戸羽太市長の講演会を予定。例会にするか特別例会にするか検討中。

4) その他

12月8日愛実の会クリスマス会支援。

2012 チャリティーラン

「心身に障がいのある子ども達に支援する」イベント、第19回チャリティーランは2012年11月10日（土）名城公園で行われ、秋晴れのなか58チーム、600余名の参加でした。暖かい日差しのなか一生懸命走る児童、応援する父兄、企業名のゼッケンを胸に力走する人たち、このイベントの為に奉仕する企業の皆さん、学生ボランティアリーダー、各ワイスメンズクラブ、YMCAスタッフの皆さんとの奉仕、熱き

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

今月の聖句

「わたしの魂は主をあがめ、わたしの靈は救い主である神を喜びたたえます。身分の低い、この主のはしためにも目を留めてくださったからです。」

ルカによる福音書 1:47~48

西 村 清

マリアの讃美と呼ばれるこの美しい信仰の告白は、その最初のことばからマグニフィカートと呼ばれ、宗教改革者ルターは、これは人間のなしうる最高のさんびのことばであると述べています。

天使の告げる受胎告知の言葉は、マリアにとって驚きと恐れと、とまどい以外の何物でもなかったが、その中で彼女は「あなたのお言葉どおり、この身になりますように」と一切を神に委ねて受け入れたのです。讃美は相手に全幅の信頼をおくことから発せられるものであり、単に口先の問題ではない。心の深みから発せられるものです。

『ワイスメンの賢い話』(No198)

『アドベントにおいて』

「今年は、12月2日から待降節（アドベント）が始まったよ。アドベントというのは、クリスマスを前にして“救い主を待ち望む”という意味があるのだよ」。「それは分かるよ。クリスマスは、2000年以上も前に、救い主となられた神の御子であるイエス様がお生まれになったことを記念してお祝いするのだからね」。「そうだね。それと同時に、アドベントという時期には、十字架の死によって私たちの罪を贖って死なれて、復活されて、昇天されたイエス様が、再び、この世に来られるという“主の再臨”ということを考える時期もあるのだよ」。「“主の再臨”って、再びイエス様が

思いの結集で成功の内に終了しました。特に景気の交替や政治的問題で厳しい状況下にも関わらず支援をいただいた多くの企業に敬意。

当クラブも例年のように「みたらし団子」700本を準備、参加した当クラブの面々毎年のことですが、慣れた手つきで混乱もなく次々と焼いて提供。今回は、業者から現場の往復を谷川君一人でして頂いた。ネットの皆さんにはラップル券販売の奉仕をとYMCAプログラムを支える一端となることができました。

(小尾雅彦)

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

ルターはその著『マリアの讃美』の中で、「このような喜びで神を讃美するのは人間の業ではない。自分を崇めることしかできない人間が、このような讃美をなしうるのは奇跡であり、われわれを越えている」と述べています。

「あがめる」と訳されている語の原語はメガリュノーで、「大きくする」「広げる」という意味です。メガфон、とかメガトンなどの語源になっています。この小さな者、取るに足りない者を、あえて主（神）は選び、大いなることをなされることを、彼女は今、心から高らかに讃美するのです。

「この身分の低い者をも顧みてくださった（目を留めてくださいました）ゆえに、彼女は喜びと感謝の歌声をあげるのです。目をかけるという表現が日本語にある。しかしそこには目をかけた人のおごりが感じられたり、目をかけられた人の卑屈さが顔をのぞかせたり、打算や計算が働いたりします。しかし主が目を留められるのは、人間の側の条件によるではなく、弱い者、助けを必要とする者への一方的な神の愛であり、恵みの選びのゆえであったのです。マリアはそのことを心から感謝し、讃美しているのです。

この世に来られるということなの?」。「この“主の再臨”は、いつ来るかということは、誰にも分からないのだよ。だけど、その時には、再臨されたイエス様が、人々を裁いて、この世を全く変えてしまわれるのだよ。その時期を“終末”と言われていて、全く変わった世界のことを“神の国”と言われているのだよ。いつ来るかわからない“終末”において、イエス様による裁きに耐え抜いて、“神の国”的なるためには、私たちは、常に、神様の前で正しい生活をしなければならないのだよ。それと同時に、この世で、様々な面で苦しんでいる人たちに対して、愛をもって支えてあげることが求められているのだよ。」

(寺田仁計)



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

メネット 11月例会報告

と き:2012年11月17日(土) 10:00~14:00
ところ:名古屋 YMCA
出席:飯田 伊左治 尾関 加藤(邦) 五島 長井
西村 深谷 加藤(朱)

今月のメネット会は12月の愛実のクリスマス会の準備です。まずは当日のプログラムを確認。今年もメンの協力で親父バンドの演奏と歌で盛り上げていただきます。渡辺メン、谷川メンに、11月例会に来ていた打楽器奏者の本多さんが参加していただけたことになりました。楽しいパフォーマンスを期待しましょう。メンバーへのクリスマスプレゼントはリース。先月作った毛糸の三つ編みリースに木の実などを飾り仕上げました。いつもながらメネットさんのセンスのよさには感心させられます。とてもかわいいリースが出来上がりしました。昼食のメニューはいつものハヤシライスをクリスマスバージョンにすることに決まりました。

お昼ごはん(おにぎり、おはぎ、みかん、パウンドケーキ)で一休みしたあとは、もう一仕事。モコモコ綿の羊さんの作成と、来年の西日本区大会メネットアワーのお土産の試作です。美濃焼の小さな器に、コーヒーの粉を布でくるんだ針山を入れて完成。手間はかかりますが、おもてなしの心を込めた素敵なお土産は、メネットアワーに参加した方にきっと喜んでいただけると思います。野村メネット事業主任よりの依頼分120個を来年1月から作り始めますので、メネットの皆さんご協力よろしくお願ひします。

愛実の会 食事奉仕について

「愛実の会食事奉仕継続について」数回の話しあいを持ちましたが、12月8日(土)クリスマス会をもって食事奉仕を終了することになりました。この2年前から、メネットの方々の高齢化にともない奉仕できる人数が減少し、大変さびしいことですが継続できなくなりました。

1993年メネット例会において島しづこ牧師のお話を聞きして、障がいを持つ子どもたちとの関わりが愛

12月メネット会ごあんない

と き:2012年12月8日(土)
ところ:愛実の会
クリスマス祝会です。9時30分から食事の準備をしますので、皆様お集まりください。

最後になりましたが、愛実の会の食事奉仕が今回で最後となります。長年続いたメネット活動の柱であるので残念ですが、やむを得ません。最後のクリスマス、楽しい時間を過ごしましょう。
(加藤朱美)

「こころのケアを考える」

2012年度西日本区メネット事業
と き:11月3日
ところ:名古屋 YMCA

名古屋を第一回として以降9つの部会で行われる予定です。50余名の参加を得て約4時間の研修も余り長いと感じない充実した内容でした。

心理学者、宗方荷生氏のお話しとビデオにより、本来の目的である専門のボランティア養成でなくても、一般人が常識として心得るべきと思うあれこれ。「被災者が受けて傷ついたコトバ」「うれしかったコトバ」「共感するとは?」等々、具体的なケアの方法はもっと多く知りたいと思いました。実用的なテキストと共に今後のYMCA活動に更に深みを加える事業となるに違いありません。

成功を祈りつつ協力して参りましょう。
(西村牧子)

実の会を通して月1回の食事奉仕がはじまりました。

約20年間に愛実の会は、最初は東海通り、そして伝馬町、さらには港区木場町(現在地)と場所が変わりました。このように場所が変わっても長年の交わりができ感謝でした。20年の長きにわたりメンの方々にはクリスマス会への参加と支援、メネットの皆様には奉仕とご協力のおかげで続けることができました。

これからも愛実の会への出来る限りの支援と交流の場を持てる事を願っています。
(飯田純子)

ハッピーバースデイ

12月 3日 成瀬 晃三君
23日 五島 八郎君
29日 青木 栄一君

BF

切手(11月分)	現金(11月分)
飯田 和也君 10pt	相馬静香さん 3000pt
谷川 修君 60pt	成瀬 晃三君 2000pt
深谷 聰君 190pt	西村 清君 2000pt
渡辺 真悟君 100pt	成瀬 晃三君 2000pt